



# Die Eiche ティ・アイヘ

Japanisch-Deutsche Gesellschaft in der Präfektur Chiba

事務局 〒274-0822 船橋市飯山満町2-518-1 第二ワールド ナーシング ホーム内  
TEL 047-461-9111 FAX 047-461-7010

## 横浜の 工場見学会



東京電力のデン子ちゃん(電気自動車)と参加者の面々。背後に2本の煙突。

真夏の日の照りつける7月14日(土)12時40分京浜東北線鶴見駅東口に集まった会員及びその知人17名は、まず「横浜さとうのふるさと」行きのバスで、塩水港精糖のさとうのふるさと館へ。砂糖についてのビデオを15分程見てから、田辺副部長の案内で、35000トンの原料が入る原糖倉庫や、砂糖の歴史が書かれたプロムナードへ。ベイブリッジやみなどみらい21が一望できる好位置にあり、7月21日の海の記念日に行われる横浜港花火大会には絶好の場所。今年はパイプラインの工事の為一般公開は行わないそうだが、来年は開放予定で、花火見物の穴場だ。

綿飴を楽しんだ後炎天下を15分程歩いて東京電力のトゥイニータワーへ。火力発電所内を見学のあと、東電の電気自動車「デン子ちゃん」で、巨大煙突のトップ186mの所にある展望台へ。京浜工業地帯のみならず、房総半島まで見渡せる。冬は富士も良く見える由。

最後は、バス終点の生麦にある麒麟ビール生麦工場へ。生麦事件の記念碑を見て工場まで徒歩5分。工場は休止中だが、清潔な完全オートメーション。見学後はカップ2杯のビール又はソフトドリンク試飲で、のどをうるおし皆生き返った心地。大いに歓談して5時半過ぎ解散。会員の中には、更に敷地内のビアホールで、ここでしか飲めない地ビール、「スプリングヴァレー」を楽しんだ向きもいた。

### 「東京ドイツ村誕生」

松本時雄(財) 日独協会会員、(市原市)

本年三月九日正午、自宅に程近い千葉県袖ヶ浦市に二十七万坪(東京ドーム二十七個分)の広大なドイツの田園風景を再現して見せるテーマパーク「東京ドイツ村」が開業した(写真裏面)。

曇天強風の開村式には数百人が集まり、在日ドイツ大使館広報部クラウス・ヘルツォーク一等参事官と袖ヶ浦市長の祝辞、姉妹提携のローテンブルク市長ヘルベルト・ハハテル氏祝電が披露され盛会を極めた。青年時代に日独政府間協定に基づきドイツ炭鉱技術習得の為三年(一九五八、六〇、六一)をルール地方に暮らし、九十六年にはグリニウツクアウフ会同期仲間と訪独里帰りし、ドイツをこよなく愛する私にとり、地元ドイツ村誕生は近來にない快挙である。

「ドイツ村建物」はロマンチック街道のローテンブルクの地方の美しい町並みの中に建てたといふ帽子の時計台の礼拝堂をはるばる移築したメイン館、資料館、飲食や物販の棟屋で構成され、レストランではドイツ料理が満喫出来、野外では約九百人着席の「バーベキューハウス」でビールと野菜類がたっぷり楽しめる。

ドイツ村はハード優先の遊園地ではなく、自然空間の中で親子一緒に楽しみ、子供達を遊ばせる田園パークである。またマルチスクリーンでドイツの自然と文化を紹介したり、村内の標高七十五メートルの丘の上には直径四十メートルの観覧車が設置され東京湾、房総半島を見下し富士山も遠望出来、四季折々に咲き乱れる花と緑の絶景が堪能出来る。まずは「案内まで」。

#### 利用案内

- ・館山自動車道姉崎袖ヶ浦ICより3km
- ・東京湾アクアライン川崎浮島JCTより木更津金田ICより姉崎袖ヶ浦IC
- ・区内房総姉崎駅又は袖ヶ浦駅よりタクシー二十五分
- ・入園料:大人千二百円、子供八百円(三歳未満無料)
- ・団体割引有り

(株)東京ドイツ村 phone: 0438-60-5111

## ～今後の催し～

### 9月8日(土) 臨時総会・講演会・ビール祭。

2:00～2:30 総会(新会長選出)

2:30～3:30 講演

3:30～6:00 ビール祭り

場所:ステーキハウス「ヒロキ」

Tel:047-423-3610

JR 船橋駅南口より徒歩5分。

京成線を横切り最初の交差点(角に近畿日本ツーリスト)を左折。30mの2F。

会費:4,000円

### 10月13日(土) 滞日ドイツ人留学生と

バスハイク「つくば文化を訪ねて」

(主催(財)日独協会)

集合場所:東京駅八重洲口 7:45

有楽町寄りの鍛冶橋駐車場

日本酒蔵元の須藤本家

筑波山神社、四万騎農園訪問

参加費:6,500円

## ライン・モーゼルワイン紀行に参加して



前列シュミット夫人と娘さん  
後列シュミット氏、中央筆者

6月21日(木)から30日(土)までの10日間、友人と共に「ライン・モーゼルワイン紀行・ドイツの食と文化の旅十日間」に行ってきました。その名の通り、ドイツ各地の美味なる食べ物とワインを楽しみながらの観光旅行で、現地では貸切バスで各地の名所・旧跡を巡りワイン醸造所を見学、試飲し、ブドウ畑の中にあるレストランで料理を楽しんできました。

ドイツのワインは、その昔ローマ人が、ライン川やモーゼル川沿いにブドウ畑を作ってワインを醸造したのが始まりとの事で、ドイツで最初にブドウが栽培されたという歴史を持つノイマーゲンの街にはワイン樽をモチーフにした「ノイマーゲンのワイン船」と題されるローマ時代の石像(レプリカ)もありました。

そして旅の5日目、トリア市内観光のあと夕刻より、モーゼルワイン協会会長のシュミット氏が経営するワインケラーを見学させていただきました。このケラーには現在100万本のワインが眠っているとの事で、内部は広々としているものの薄暗く、湿ってカビ臭くもありましたが、古い樽の横に新しいステンレスの樽もあり驚きました。聞けば、樽の洗浄に人件費が安上がりなのだとの事。

3種のゼクト(シャンパン)試飲の後、氏の娘さんの家で夕食。ホワイトアスパラガスとハムの前菜、生ハムとメロン、ポテトサラダ、アスパラガスのサラダ、ポークグリルなどを満喫。広々としたワイン畑を見渡しながらの野外パーティーは最高でした。

下川はつ江(当協会会計担当)

## NEWS

### 【加藤吉昭会長に叙位叙勲】

去る4月28日に逝去された(本誌前号既報)千葉県日独協会会長・日本大学名誉教授、故加藤吉昭氏に対し同日付をもって正五位勲三等瑞宝章が贈られた。なおご遺骨は6月2日、西船橋の原木山妙行寺墓所に埋葬された。

### 【石崎満理事より30万円の寄付】

同氏より7月18日当協会口座にドイツ軍人墓地整備基金(昨年ヴァルナー当協会顧問ードイツ連邦共和国大使館国防武官・海軍大佐により1万円が寄付され創設された)に30万円入金された。ドイツ軍人墓地の整備に活用される予定。

### 【柳橋雅彦理事逝去】

同氏は6月19日肝臓ガンにより逝去されました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

ローテンブルクから移入の礼拝堂

